

ようこそIGL不動産事業部へ

皆様、初めまして株式会社アイジーエルの不動産事業部です。この度は不動産事業部についてお話をさせていただきます。

立ち上げに至った経緯に関しましては、経営理念である「隣人愛」を主に皆様にとっての生活のサポート事業が株式会社アイジーエルでもお手伝い出来ないかという考えで、この度不動産事業部をスタートすることになりました。

事業内容といたしましては、主に不動産に関する仲介事業、賃貸、土地販売もしくは建売といった事をメインにお客様、お取引先様は当然の事、IGLグループに関わる皆様へ素敵な住まい探し、業者でしたら理想の土地探しを全力でサポートいたします。

次に私達、不動産事業部の事務所についてご説明いたします。場所は上安の老健ベルローゼ低層棟3階、廊下を進んで奥の部屋がアイジーエル不動産事業部の部屋となっております。

従業員は、不動産事業部所長の高橋朋弘、宅地建物取引士の宇吹昭子、溝田妃奈子が皆様をお待ちいたしております。

普段の業務は、土地に関する情報展開(写真記載広告も含む)・各事業所、お客様への営業訪問・契約書、又はお客様のご相談等々になります。

お客様に来ていただけるように様々な特典もご用意させて頂いておりますのでお気軽にご相談ください。

皆様のお越しを楽しみにしております。



お問い合わせ

株式会社 アイジーエル
不動産事業部

TEL 082-830-3007

E-mail igl-fudosan@igl.or.jp

レーナ・マリアさんのコンサートが広島で開催されました。

2025年4月4日(金)、安佐南区民文化センターにてレーナ・マリアさんのコンサートが開催されました。
IGLは、レーナ・マリアさんのコンサート広島公演に協賛し、地域の皆様に愛と希望のある歌声をお届けしました。



Lena Maria Profile



1968年、スウェーデンの中南部の村ハーボに生まれました。生まれつき両腕がなく、左足は右足の半分の長さしかないという原因不明のハンディキャップを負う。3歳の頃から水泳教室に通い、18歳の時、世界障がい者水泳選手権にスウェーデン代表として出場、多くの選手権にて数々のメダルを獲得した。

1988年のソウル・パラリンピックにおいても好成績をおさめた。音楽においては、高校の音楽専攻科からストックホルム音楽大学にて音楽を学び、卒業後、ゴスペルシンガーとして音楽活動を開始、多数のCDを制作し発売する。1991年日本のテレビで紹介されたことがきっかけで、何度も日本に来日し、コンサートや、学校訪問などを通して、多くの人々に励ましを与えている。

1998年、長野パラリンピック(冬季)の開会式や善光寺で歌い、2003年12月の富山コンサートを持って、全県でのコンサート開催を達成。

2013年には、マンガによる彼女の伝記本の売上が、ヘレン・ケラーに続く第2位だと紹介される。2017年にはパトリック・ヴェンデルウス氏と結婚、来日25周年記念コンサートを行なった。

2020年に企画されていたツアーは新型コロナウイルスのため、中止となり、その後日本でのコンサートは開催されていない。

戦争、災害、異常気象などで、世界中に不安が広がる中、レーナからもう一度来日し、自らの歌を通して神の愛を伝えたいとの強い要望があり、その願いを叶えるために、2025年の春のコンサートツアーが実現した。



教会から「愛の手紙」

自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい

IGLグループ・チャプレン 岩崎光洋先生



IGLグループはキリスト教精神を土台としています。そして理念として「隣人愛」という言葉を掲げています。この「隣人愛」は聖書の中にある「自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい」(マタイによる福音書22章39節)という言葉から来ています。2000年近くに活動していたイエス・キリストという人物が、ある人からの「聖書の中でどれが1番大切な教えですか?」という質問に対して答えたのがこの言葉でした。また聖書の中には「信仰と希望と愛、この中で最も大いなるものは愛である」という聖書の言葉もあります。宗教というのは、信仰を広め信者を増やすことを目的とする性格を持っているものです。しかしキリスト教は「信仰」よりも「愛」のほうが大切だと言い切ります。

今日の私たちは多くの場合、「愛する」と聞くと「相手を好きになる」とことだと考えます。しかし聖書が本質的に語る「愛」は必ずしも「好きになる」ことを意味してはいません。聖書が語る「愛」は「相手を大切にすること」という意味を持っています。つまり聖書の語る「愛」は「好き、嫌い」という感情表現の言葉ではなく、「相手をどう扱う

か」という行動を表わす言葉なのです。イエス・キリストが「あなたの敵をも愛しなさい」と言われた事があります。「敵を好きになりなさい」と言われても、これは不可能です。嫌いだから「敵」なのであり、自分を攻撃してくる相手を「好きになろう」と思っても感情はついて来ないものです。しかし「愛」とは「相手を大切にすること」です。心の中で相手を憎々しく思っている、相手が困っていたら、心の中の感情をグッとこらえて「仕方ないなあ、面倒だなあ」と思いついて相手にも助けの手を差し伸べていく。そんなあり方が、聖書が私たちに教えている「愛する」というあり方です。

目の前にいる人を「愛し」ながら今日という1日を過ごすことによって、平和と喜びが世界へと広がっていく。そんなイメージを持ってIGLグループは歩んでいます。

